



「私の考えるボランティア ～お手伝いください～」

特定非営利活動法人京都教育サポートセンターは経営の状態というところから大きな理由で、ボランティアスタッフにて構成し、日々の活動を行っています。この原稿を書いている私もただ一人の常駐であり肩書上は理事長兼事業所長ではありますが、京都教育サポートセンターの活動に関してはボランティアとして活動しています（同居団体個別指導学習塾「個別教育予備校 MES」が私の自営で個人の生活費を賄っています）。利用者の利用料、寄付者、各種会員の会費、寄贈物のバザー活動による収益などはすべて運営費に使用されています。

さて、本題のボランティアというところに関しての私の考え方を書いていこうと思います。

ボランティアは本人の自発的な奉仕精神により行うものであり、対価が伴わない気持ちの部分で行う活動であると思っています。

したがって、何か気軽にできるちょっとした合間の活動という風にとらえてしまう要素もあるかもしれなません。活動の内容によっては単発的にそして気軽にできるものも多いと思います。ただ、当所は対象が不登校・ひきこもり経験者や当事者・学校中退・対人関係の不安・心理的サポートが必要などの方々が通われているということもあり、繊細な心の状態の10代から40歳くらいまでの人と関わる活動になります。

したがって、その若者のサポートをするにあたってはまずは本人との関係性を作っていくことが必要、そしてそこからサポート活動に入っていける、となります。ですから、ボランティアスタッフというものであれど、気軽さというところは少ない活動だと思っています。ただ、責任という所では代表職の私が受け持っていますのでそこは難しく考えないでいただければと思います。

そして、最後に思うことはボランティアの方が仕事よりも気持ちのものだけで行う分だけ大変なのかもしれないと思っています。気持ちが切れれば続かないも

のですから。当所の考え方の一つで「しようと思うことをする」というものがあり、それは利用者にもボランティアスタッフにも伝えていきます。

利用される方々のそれぞれが抱えているしんどさの部分、考え方の部分、意識の部分等をまずは受け入れてあげながら、当然社会の中に出ていくために必要なことは学んでもらいたい、というところの様々な活動、関わりをする当所の活動に参加していただける方を募集しております。上記の考え方も踏まえてこのような方を募集しています。

○ 満20歳以上40代くらいまで（50代以上でも体力的に若者と関わっていける方、自分の考えを押し付けられない方は可能です）

○ 週1日以上活動をできる方（同じ曜日安定がありがたいですが、シフト制の仕事などにより変動曜日でも活動できなくても安定した回数活動していただけるなら大丈夫です）で半年以上はやってみようと思える方。（事情により来る曜日が変更や単発的なお休みは問題ありません）

※まずは見学がてら初回面談をさせていただき、詳細を説明させていただきます。そこでやってみようとなれば、まずは活動参加ください。人と関わる活動である以上、当所の理念や活動方向と合わないまたは利用生が負担に思ってしまうと判断する場合はその時に継続相談となります。

※できれば月1回のスタッフミーティング（ほぼ第1日曜日18時から実施）やイベントなども可能な時は参加いただけるとありがたいです。

※活動内容は通常運営時はフリースペースでの話し相手、遊び相手、各種作業手伝いなどです。イベント実施日はイベントへの準備撤収や盛り上げ参加などです。

※火曜日から土曜日の11時から18時で運営しています。日曜日はイベント実施日のみです。

現在15名のスタッフで運営していますが足りていない曜日もあるので募集を継続しています。興味を持たれたらとりあえずは話でも聞きに来てくださいね。

（南山 勝宣）



カウンセラーの目

「聞き方を知っておくのも役に立つ」

【発端】

ある人と話をしているときに「医者や心理士（カウンセラー）って、時々、信用できない人が居るんですよね……」というコトバが出た。

どういう事かと聞いてみると「話す度に意見がコロコロ変わるんですよ……、以前は、こうした方が良いつて言ってたのに、同じような事を改めて聞くと、別のことをしなさいって返事が返ってきて、いったい、この人の意見はどっちなんだろうって、だんだん信用できないって気分になってしまいました……」というような経験が語られた。

聞いた直後は『私の知らない所に、けっこういい加減な対応をする人も居るのかな……』とも思ったのだが、その人の行った所は、それなりの実績も聞いている所で、私の持っていたイメージと、その人の体験談がすんなり一致しない違和感が残った。

【連想】

これと似たような違和感を、以前、療育相談の場面で体験したことを思い出した。

発達障害と言われた子どもを持つ母親が、以前、相談に行った病院で医師から指導を受けたのだが、うまく行かなかったと言うことで改めて私の関わる研究所に相談に来たときの体験……。

この時、私は直接その医師に会って話したことは無かったのだが、発達障害に理解があり、丁寧な対応をされる方だという評判は耳にしていたので、その医師の指導が効果の無いものだったという話とイメージが一致せず違和感を感じた。

この時には、ある程度時間をとることができたので、医師からの指導の内容を詳しく聞いてみることにした。

詳細は省略するが、医師の指導内容は「発達障害の子への対応として望ましいもの」だった。そうすると「うまく行かなかった」のはなぜなのか……ということになる。

【関連】

これと関係しそうな体験がある。

発達障害の子の療育場面に母親に同室してもらって、その後、療育相談をしたときに母親が「ウチの子が、あんなに色々とできるって、思ってませんでした……専門のセンセのやり方って、さすがやと思いました……ウチでは、すぐ口も手も出してしまってたから……もっと待ってやらんとアカンのですね……セヤけど、私、イラちな方だから、待つって、なかなか……ねえ……」と語った。

「専門のセンセ」として評価してもらえたのは嬉しいが「母親も、同じように対応する」というのは、ちょっと違うのだ。

実は「専門のセンセ」やから「さすがの対応」ができたのかというと、要因はそれだけでは無いのだ。

療育場面というのは、だいたい週に一回で、時間は45分から1時間くらいで、時間と場所が制限されている。

これが「さすがの対応」の要因の一つなのだ。

確かに「専門のセンセ」となるために勉強も実習もしてきたが、その能力を最大限に発揮できるのは「時間と場所」が制限されているからなのだ。

「時間と場所の制限」というのは、制限による不自由さという面だけでなく、少々やっかいな対応をする事態になったとしても1時間後には終わることが決まっているわけで、「専門のセンセ」を守る枠にもなっているのだ。

いわば、「リング内（療育室）、1時間、一本勝負」で、「専門のセンセ」は、この枠の中で力を出し尽くしているわけ……これを見学した母親が同じようにやってみようと思つた場合、「場外乱闘有り、時間無制限、一本勝負」をすることになるわけで、状況が全く異なるのだ。

【連想に戻る】

「うまく行かなかったのはなぜ」なのかは、この「状況の違い」を整理することで調整でき

るのでは無いかと思える。

母親が医師に聞いたのは「この子のためには、どうしてやれば良いですか」という問いで、これに対して医師が指導したのは「この子のため」に良い環境を提供するための内容を網羅した指導で、その内容に問題は無かったのだ。

では問題はどこにあったのか……実際に療育相談の時にたずねて分かったのは、先の「場外乱闘有り、時間無制限、一本勝負」という状況に母親をはじめ家族が耐えられなかったから……ということだった。

子どもを連れて診察に行った先で質問する内容として「この子のためには、どうしてやれば良いですか」と聞くのは当然といえば当然で、ほかの質問は場違いな印象になってしまいそうだが、医師から、よりじっくりしたコトバを引き出すなら「この子を抱えた私たち家族は、どうしていくのが良いでしょうか」と聞いてみるのが良かったのだろう。

この時は、医師の指導内容に誤りは無かったが、母親や家族の消費するエネルギーについて考慮されていなかったことが関係していることが見えてきたので、「この子」と「母親」「家族」が、それぞれの生活を維持しつつ、互いに安定できるポイントを探すという視点で医師の指導内容を再検討してみるという作業をすることで、行くべき道筋が（ほんのりとだが）見えてきて、療育相談を終えた。

【発端に戻る】

そして、最初の話に戻って「医者や心理士（カウンセラー）って、時々、信用できない人が居るんですよね……」ということについて。

改めて検討してみると「話す度に意見がコロコロ変わるんですよ……」という表現に小さなズレを発見した。

「医者や心理士」の所へ行って見たのは「相談に乗ってもらう」ためだったはずなのだが、実際に面談して手に入れた相手（医師・心理士）のコトバを「意見」として受け取っているのではないかと思えるのだ。

「いやいや、どうしたら良いのか、意見を聞きに来たのだから、それで良いではないか……」と思われるかもしれないが、再検討して欲しい……あなたは「誰かの意見に従おう」と思って相談に行ったのか。

誰かに相談をしたときに「そんなこと、気にするからだよ……気にしなければ良いんだよ……」という意見を言われて、それで、その意見に従って悩みが解決したということは、少ないのでは無いだろうか。

たいていは、「それは、そうだろうけど、気になるから困るんだ」ということが多いのでは無いだろうか。

誰かの意見というのは「そんなこと気にならない」という人（誰か）の意見は「気にしないから、何でも無い」ということで、コロコロ変わることは無いのだ。

意見を聞くのでは無くて、相談に乗ってもらうというとき「相談に乗る誰か」が「医者や心理士」の場合、「自分の意見は置いて、そんなことが気になるあなた」に焦点を当てて考えている。

そして（特に心理士の場合は）、「それなら、こういうのはどうですか」と「提案」をすることはある。

それは「意見」ではなくて「提案」で、選択は本人に任されている。

別の機会に「似たような相談」をした場合、「その人の意見」は以前と変わらず「気にしなければ良い」だったりする……しかし、「自分の意見は置いて」改めて「気になることを相談してきた人に焦点を当てて」それなら「こういうのはどうですか」と新たな「提案」をすることになる。

それは、「以前の提案」の後に出てきた（あるいは残っていた）「気になること」なので、「それなら、こういう切り口では、どうですか」という「提案」になることもある。

それは、依然とは異なる切り口（視点）での提案なので、依然とは方向性が異なっていたり、場合によっては以前とは逆の視点だったりする。

自分が「その人の個人的意見」を聞き取ったのか、「自分の意見をまとめるための、様々な提案」を手にしたのかを再確認しておく、「医者や心理士（カウンセラー）って、時々、信用できない人が居るんですよね……」という不信感を抱くことは少なくできそうな気がする。

ただ、悩んでいるときに、そこまでの洞察力を発揮するっていうのは、それ自体が難しかったりするので、これがまた悩ましいことでもある。

（高石 公資）

イベント紹介・報告

☆12月2日
集い場○ 学食 Walk ミーティング

今回は1月27日花園大学に決まりました。
今年度はあと2月にミーティング、3月実施で最後になります。

☆12月3日
集い場○ バスで京都散策ミーティング

今回は1月21日嵐山に行くことになりました。
今年度はあと2月にミーティング、3月実施で最後となります。

☆12月4日11日18日
K S C E 事務所でバザー実施。

今後も不定期ですがフリースクールお休みの日に
バザーを実施してリユース活動を推進していきたいと思います。

☆12月15日
健康体操教室

年末ということもあったのか参加者が少なめでした。
でも参加者は体を動かしてヒーリングもして
少し体が軽くなっていただけたと思います。



☆12月17日
集い場○麻雀部

この麻雀部で初めて麻雀をした子が
少しずつ役を覚えてきて実践が強くなってきています。

☆12月25日
クリスマス会

毎年のクリスマス会です。
5号ホール2つ分のケーキを作って
8人で食べました。あとビンゴ大会と
人生ゲームをして楽しいひと時でした。



☆12月29日
大掃除&忘年会

年に1度の大掃除
蛍光灯やエアコンのフィルターなど
1年の埃をかぶったものをきれいに掃除
しました。
夕方からの忘年会では11名の参加で
した。
今年も盛大に実施できました。



ものづくりかふえ

☆12月16日

お正月関係のものを作りました。鏡餅や注連縄など、いいできあがりですよ。



お知らせ

☆ 機関紙の購読または設置していただける方を募集しています

- ・当所の活動報告を行う機関紙「KSCE 通信」や案内三折パンフレット・各種活動チラシ・同居団体個別指導学習塾「個別教育予備校 MES」の三折パンフレットなどをおいていただける方・場所の情報を教えていただける方などを募集しています。
- ・個人で機関紙を購読という形でご支援いただける方募集しております。機関紙購読は送料込みで年3600円でご支援をお願いしております。メール添付による個人の方は2400円・関連団体や連携団体の方は原則無料で送付させていただきます。
- ・機関紙に広告を掲載させていただくことでの広告料という形式でのご支援も募集しております。
- ・機関紙は紙面による配布と PDF 形式によるメール添付形式で行っております。

☆ 賛助会員・寄付会員を募っています

賛助会員は 12000 円／年

寄付会員は金額は任意です。どちらの会員も機関紙による活動報告をさせていただきます、会員の種類・金額により、ものづくりかふえ活動での手作り品のお礼をさせていただきます。寄付会員の方は、良ければ機関紙に寄付の方のお名前を掲載させていただけると幸いです。

☆ 物品寄贈も随時募っています

衣類・雑貨・書籍など市役所前フリマに出店して販売できるものを随時募集しています。ゴミの減量目的のリユース活動として、フリマの収益は当所の運営に充当させていただきます。NPO の苦しい会計の手助けをしていただくと幸いです。また当所の学修サポート・フリースペース提供・フリースクール活動で使用できる教材・赤本・高校卒業程度認定試験対策問題集・教科書・教科書ガイド・問題集・マンガ・小説・知育玩具・パズル・ボードゲーム・カードゲーム・スポーツグッズ・収納関係（要事前相談）・OA 機器・OA サプライ等を随時募集しています。宅急便（費用はお願いしています）・持ち込みなどをお願いしております。徒歩圏内は台車でのお伺いも可能です。賛同していただける方は電話・メールでお申し出ください。もしよろしければ、通信による活動報告や、通信へのお名前の記載をさせていただけると幸いです。

京都市 匿名様、東京都 匿名様

より寄贈いただきました。ありがとうございます。

（お名前掲載の許可をいただけた場合には氏名で掲載させていただきます）

○ 京都教育サポートセンターの活動をご支援ください

ボランティア募集・物品寄贈・賛助会員・寄付会員・などのお問い合わせはお気軽にお申し出ください。電話（075-211-0750）は火曜日～土曜日の 11 時から 18 時（時間外も代表在中時は対応いたします）メールは 24 時間受付 soudan@ksce.jpn.org まで。

集い場

集い場は京都教育サポートセンター運営時間外に開所し、利用生であるかないかを問わずどなたでも居場所として利用していただけるものです。

次回 実施予定
2月11日土曜日 18時～22時（20時までに入室ください）

集い場○（サークル）は活動内容が決まっている中でその内容に対して参加者が集って交流をしたりしていくものです。

活字倶楽部	次回2月15日水曜日	15時から	
健康体操教室	次回2月16日木曜日	14時半から	原則第3木曜日実施です。
学食 Walk	次回2月10日金曜日	15時から	ミーティング
バスで京都散策	次回2月11日土曜日	15時から	ミーティング
麻雀部	次回3月に実施		

※集い場は参加無料です。集い場○も今年度は参加費無料にて参加できます。2回目の参加時にアンケート記入をお願いいたします。

※集い場・集い場○は平成28年度京都市によるNPO等民間団体の子ども・若者支援促進事業の助成を受けて実施しています。

2017年4月以降の集い場事業について

3月までは京都市による、NPO等民間団体の子ども若者支援促進事業として3年間実施してまいりましたが4月以降は単独事業としての実施となることもあり、下記のように予定しています。

集い場事業・・・当所運営時間外を開所してどなたでも居場所として使っていただく事業
これは2017年度より廃止いたします。

集い場○（サークル）事業・・・定期的を実施するサークル内容に対して人が集い、人と関わり、経験していく事業

各サークル事業を見直し、新形式にして実施を継続いたします。現在ある5つのサークル活動の一部をリニューアルし新規サークルも追加をしようと予定しています。詳細は次月通信並びにチラシなどで告知いたします。

2017年度よりKSCE活動のリニューアルを予定しています！

各曜日にフリースペースの活動テーマを設けたり、集い場事業のリニューアルなどを予定しています。詳細は次月通信並びにチラシ、HP、ブログ、Facebookページで告知いたします。これからもっと皆様が利用してみたいと思えるようなコンテンツを作っていけたらと思っております。

編集後記

2017年2月をもって特定非営利活動法人京都教育サポートセンターはまる15年の活動になりました。ここまで続けてこれたのも皆様のご支援ご指導の賜物です。これからも社会の中で生きにくいと感じている若者の支援を行ってまいりますので、皆様のご指導・ご支援いただきますようよろしくお願い申し上げます。

（南山 勝宣）

フェイスブックページ
<https://ja-jp.facebook.com/ksce.apollo>

Twitter ID「ksceleader」
ブログ http://ksce.jpn.org/?page_id=1234

2017年2月

日	月	火	水	木	金	土
			1 節分豆まきと恵 方巻	2	3 節分祭に行こう	4 スケートに行こ う
5	6	7	8	9	10 パレット清掃 集い場○学食 Walkミーティング	11 建国記念日 通常運営 集い場
12	13	14	15 集い場○ 活字倶楽部	16 集い場○ 健康体操教室	17 集い場○ ものづくりか らふえ	18
19	20	21 ヒーリング体験	22	23	24	25
26	27	28				

2月
(1月10日
時点の予定)

1日(水) 節分豆まきと恵方巻 16時 ふえ 14時から
半から 参加費内部・アポロ会員300円 その他500円

21日(火) ヒーリング体験 詳細はブログ・facebookページ・事務所内掲示いたします。

3日(金) 節分祭に行こう どなたでも参加可能 参加費無料 移動など各自負担 詳細はブログ・Facebookページ・事務所内掲示します。

3月12日(日) 地域力アップおうえんフェア 参加予定

4日(土) スケートに行こう 詳細はブログ・facebookページ・事務所内掲示いたします。

3月18日～20日 ユースフリマ(京都アートフリマ併設) 参加方向 ※実施されない・抽選漏れの場合などはありません。

10日(金) パレット河原町清掃活動日 9時半

3月は「年度末パーティ」「年度末食事会」を予定しています。詳細はブログやfacebookページ、代表SNS、事務所内掲示にて告知いたします。ぜひご参加ください。

10日(金) 集い場○ 学食Walk ミーティング 2016年度最後の学食 walk 活動中の実費は各自の行先などを決めます。15時から。

※他土曜日などは急にイベントが実施になることもありますので京都教育サポートセンターのfacebookページやブログ(代表のSNSでも発信しています)ご確認ください。

11日(土) 集い場 18時から22時

11日(土) 集い場○ バスで京都散策 ミーティング 15時から

facebookページ
https://ja-jp.facebook.com/ksce.apollo
Twitter ID「ksceleader」
ブログ http://ksce.jpn.org/?page_id=1234

11日(土) 建国記念の日で祝日ですが通常運営いたします

※内部生徒・アポロ会員以外の方もイベントにはご参加いただけます。前日までにお申し込みください。

15日(水) 集い場○ 活字倶楽部 15時から

16日(木) 集い場○ 健康体操教室 14時30分から

17日(金) 集い場○ ものづくりか 毎週日曜・月曜 お休み

KSCE 全般もしくは通信に関するお問い合わせ・ご意見は、下記までお願いします。

E-mail の場合 soudan@ksce.jpn.org、TEL/FAX の場合 075-211-0750、郵便は〒604-8005 京都府京都市中京区三条河原町東入ル恵比須町 439 早川ビル 6F 京都教育サポートセンター KSCE 通信係 まで。

2017年1月20日発行 特定非営利活動法人 京都教育サポートセンター